

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和4年度第5回常務理事会 議事録

開催日時：令和5年1月14日（土）14時より

開催場所：Zoomによる会議

出席者：棚村、岡村、清水、苅谷、澤野、市川、伊藤、森本、武藤、高橋

欠席者：なし

議長：棚村（会長）

議事録：高橋（庶務部長）

【各種連絡事項】

議長：棚村会長により進行された。

【日臨技・県・その他】〔棚村会長〕

1. 日臨技より、11月締め分の会費の送金は0円であった。日臨技生涯教育推進研修会助成金は病理部門と臨床生理部門で、計100,000円であった。
2. 日臨技より、都道府県技師会との令和5年度関連事業（日臨技生涯教育研修制度、都道府県リーダー育成研修会、全国「検査と健康展」、地域ニューリーダー育成研修会、総会議決権行使促進支援、その他）が計画されているとの連絡があった。
3. 日臨技による「都道府県災害マニュアル説明研修会」（2月16日WEB開催予定）について、棚村会長と清水副会長が出席する。
4. 日臨技より、訃報のお知らせ（日臨技元会長 佐藤乙一様）があった。
5. 岐阜県庁医療整備課より、岐阜県健康福祉部（保健衛生分野）における叙勲及び褒章潜在者に関する調査依頼があったが、岐臨技としては対応できなかった。
6. 厚生労働省より、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」及び官民連携協議会に関する周知等の依頼があった。次回の定期便にて関連資料を各施設に送付する。
7. 岐阜県医師会より、「岐阜県糖尿病性腎症重症化予防プログラム News Letter Vol.4」の周知の依頼があった。次回の定期便にて関連資料を各施設に送付する。

【会計部】〔苅谷会計部長〕

1. 11月分の収支について
11月分の収支について主だった点を報告する。収入については、精度管理の参加費が計上されている。支出については、各研修会の日当、旅費等、講師謝礼（病理研修会）が計上されている。

2. 中間決算について

中間決算について主だった点を報告する。

収入：会費は一年分を上期と下期の半分に分けて計上している。

支出：外部講師の旅費等はWEB講演が多かったため、減額決算になっている。

前年度との比較：会費収入は会員の増加に伴い増額したが、賛助会員は4社減により減額となった。事業収入は病理部門研修会と春季拡大研修会の参加費の有料化により増額となった。広告収入は春季拡大研修会により増額となった。日当・講師謝礼・会場費は病理部門研修会と春季拡大研修会などにより増額となった。

【精度管理事業部】〔武藤精度管理事業部長〕

1. 次年度精度管理事業について

次年度の予算は、市販血試料の使用や医師会との統合により増額になる。参加施設数の増加に伴い、参加費や発送費なども増額になる。医師会から調査費および試料代が入るが、全体的な収支はやってみないとわからない。

2. 岐臨技所有の冷凍庫について

岐阜市民病院に設置してある岐臨技所有の冷凍庫について、岐阜市民病院から移設をお願いされている。しかしながら、事務所移転や物価高による冷凍庫の納品時期の遅れなどの問題があるため、現在のところ移設は困難である。

【渉外部】〔伊藤渉外部長〕

県への公益目的の支出計画の申請が終了したが、理事の変更手続きについては県への確認が必要。

【学術部】〔森本学術部長〕

1. 技師会誌について、今年度は論文投稿が3題あり、年度末の発行を予定している。

2. 次年度の新人サポート研修会について、集合形式かWEB開催のどちらで開催するのか決めてほしい。⇒オンデマンド（WEB）での開催とする（全会一致で承認された）

3. 県外へのウェビナー貸し出しについて

ウェビナーの使用については、岐臨技の行事を優先したいが、空いているのであれば費用を徴収して貸したいと考えている。現在、中部圏でウェビナーの契約があるのは岐阜県のみ。今後、他県からも貸し出しの依頼が増えるかもしれないので、規約等を決めたほうがよいのではないかと。

〔武藤精度管理事業部長〕

例えば、愛知県ではZoom使用の契約人数が多いため、ウェビナーの必要性がない。岐阜県の場合、ウェビナーを解約するのであれば、Zoom使用の契約人数を多くする必要がある。費用面から考えると、Zoomの契約人数を多くするよりもウェビナー契約のほうが安価で済

む。他県主催の研修会等にウェビナーを貸すのであれば、費用を徴収する規約が必要かもしれない。

[棚村会長]

今回の例を契機に、岐臨技としてウェビナーの貸し出し規約を作成する必要があるのではないか。

【組織調査部】[澤野組織調査部長]

12月に「検査と健康展」をカラフルタウンぎふで開催した。実務委員は46名。来場者数は約400名で、幅広い年齢層に来場してもらえた。大画面モニターを用いて技師会の紹介ができたのがよかった。3年ぶりの開催で部門長の変更もあり、苦勞した部分もあった。日臨技から50万円の助成金があり、支出は約23万円で大幅な黒字となった。

【広報宣伝部】[市川広報宣伝部長]

特になし。

【庶務部】[高橋庶務部長]

今回提出された各部門の次年度事業計画について、2月の理事会で承認を予定している。

【その他】

[澤野組組織調査部長]

中濃地区の地区総会を2月10日（WEB）に予定している。

[棚村会長]

令和5年度の定時総会について、会場（大垣市）は仮契約してあるが、現時点で本契約はされていない。定時総会の開催形式については、次回の理事会で決定したい。

[清水副会長]

西濃地区の地区総会の日程は決定していない。地区理事に確認して次回報告する。

議長 棚村 一彦 印

議事録署名人 清水 康之 印

議事録署名人 岡村 明彦 印

